

令和6年度決算に基づく資金不足比率の概要

資金不足比率とは、公営企業ごとに算定した資金不足額の事業規模に対する比率です。営業収益に相当する収入を事業規模としていることから、この比率が高いほど、事業の収入で資金不足を解消することが難しく、経営が悪化していると考えられます。

会計の名称	年度	資金不足額 A (単位：千円)	事業規模 B (単位：千円)	資金不足比率 A/B (単位：%)	経営健全化 基準 (単位：%)
水道事業会計	6	—	7,356,001	—	20.0
	5	—	7,356,418	—	
下水道事業会計	6	—	5,338,098	—	
	5	—	5,364,352	—	
病院事業会計	6	—	12,988,049	—	
	5	—	12,560,171	—	

【備考】 資金不足比率は、資金不足額がない場合、「—」と記載しています。

資金不足が生じている会計はなく、いずれも基準をクリアしています。